



議会

ひえづ

令和8年
5月1日



▶ **令和8年度予算可決**

▶ **子育て交流施設の整備に重点!**

もりあげたい

みなさんに聞きました



自己紹介をお願いします



庄司 和史さん

日吉津に住んで20年、自分が若い頃、下口応援団の方にすごくかわいがつてもういました。自分も若い人へ声をかけていかなければと思っていました。バトンをうまくつなげていけたら楽しくなるんじゃないか、自分自身も楽しむことが大切です。



和田 瑞希さん

箕蚊屋校区出身です。日吉津に住んで2年半になりますが、自身が自治会に参加するとは思ってもよらなかったです。絆が強く、とても楽しいです。



河合 ちさきさん

安来から来て8年目、村にしては珍しく子どもが増えて子育てしやすいです。



堀田 一斗さん

子どもの頃から日吉津に住んでいます。戸数が少ない班の班長として役員になりました。行事を盛り上げていこうと思います。



▲練習も楽しかった



米原 達也さん

鳥取市出身で、大きな学校で育ちました。

日吉津に住んでのはじめの4年間はアパートでしたが、子どもが小学校に行くタイミングだったので家を建てました。少人数の学校もいいなと思います。子育てしやすい村で気持ちよく暮らさせていたいです。



山形 由美さん

アパートに住んでいますが、家を建てて6年、地域の集まりが盛んで、運動会では、老若男女が参加されていてうれしいです。

村民インタビュー

地域を

TEAM下口合唱隊の



合唱のきっかけは？

庄司さん 下口として何年も芸能大会に参加できてなかったのが、久々に参加したいと思っていました。夏祭りで下口の歌を作ったら盛り上がったので、有志で今年になってから人集めをしました。

練習はヴィレステホールや公民館で行いました。

感想を聞かせてください

山形さん 「ひえづのわ」で太鼓はやっていますが、合唱となると恥ずかしい気もしました。みんなでやるんだ」という気持ちでやりました。練習も本番も楽しかったです。

霍田さん 「もり上げ隊」の一員としてやりましたが変わったことをしようとして服装もタンクトップでやりました。

色々な人と出会えてよかったです。

米原さん 2歳の子どもが家に帰ってからも「しもぐち！ しもぐち！」とオリジナル曲の一節を歌っていました。

庄司さん みんなが自主的に工夫をし、子どももしっかり歌ってくれました。

自分の予想をはるかに超えていい合唱になりました。年配の方から楽しい2週間だったと喜んでいただき、感激しました。世代を超えて、一つのステージができて良かったです。

「議会ひえづ」を 読んでいただいていますか

米原さん 「議会ひえづ」は読んでいます。

ホームページは見えていなかったです。知らない人も多いと思います。

霍田さん 自分の知らないことや下口以外の所で何があったのか確認するため、村報も含め読んでいます。

ひえづチャンネルを見ていないので、貴重な情報源です。

議会や村に要望は？

米原さん うちの近くに小学校のグラウンドがあって、いつも遊んでいます。

山形さん 下口の公民館の庭は少し湿っぽいので…何とかできないでしょうか。



▲色々な世代が仲良くなりました

ご協力ありがとうございました。「日吉津村で子どもを育てたい」とのみなさんの期待に添えるように議会も頑張ります。ますます盛り上がりそうな来年の出し物を楽しみにしています。

施設の整備に重点！

億円 前年度費10.5%の増

海浜運動公園（第2期）整備

5億9,570万円

子育て交流拠点施設整備

4～5月 事業者選定
6～3月 設計、工事
令和9年4月運営開始（予定）

給食無償化

1,599万円



元気もりもりハウス設計委託

990万円



竣工後32年経過、安全面を考え、建て替えを検討

観光漁業センター修理など

1億1,169万円



令和8年度当初予算

- 一般会計 **37億26万円**
- 国民健康保険事業勘定特別会計 **4億1,125万円**
- 後期高齢者医療特別会計 **8,366万円**
- 下水道事業会計
 - 収益的支出 **1億8,477万円**
 - 資本的支出 **4,478万円**

こども誰でも通園制度

1,702万円

6か月から3歳未満で未就園の子ども。上限は月に10時間



介護予防・地域支えあいサポート拠点事業

2,023万円

- ・ 社会福祉協議会、デイサービスセンター指定管理事業者（ライオンハート）と連携する。「まくれんカラダ体操」の実施など、体づくりにつながる活動を行う

新たな産業づくり

1億5,080万円

- ・ 委託事業商品の共同開発、広告・宣伝。HPによる魅力発信
- ・ イチジク栽培のための研修

3月 定例会

令和8年第1回定例会は、3月3日から18日までの17日間開催しました。一般会計など令和8年度の当初予算や令和7年度補正予算など、14議案と発議1件を原案通り可決しました。

リニューアル

海浜運動公園
(第2期)

子育て交流

一般会計予算は約37

討
論

議案第17号 令和8年度一般会計予算

反対 江田 加代 議員
※子育て支援は一般会計で対応すべき。

賛成 加藤 修 議員
※新規・継続事業ともに細部まで配慮されている。

採決

反対：江田



可決

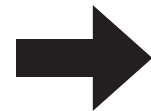
議案第18号 令和8年度国民健康保険事業勘定特別会計予算

反対 江田 加代 議員
※子育て支援金のために、国保を使うべきではない。

賛成 長谷川 康弘 議員
※全世代で子育て支援すべき。国の制度であり、地方公共団体が導入しないことは考えられない。

採決

反対：江田



可決

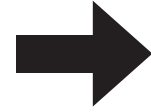
議案第19号 令和8年度後期高齢者医療特別会計

反対 江田 加代 議員
※子ども・子育て支援金が、全額上乗せされており反対である。

賛成 前田 昇 議員
※所得のある高齢者には応分の負担をいただきたい。

採決

反対：江田



可決

予算審査における付帯意見
(一部抜粋)

【総務課】

・総合計画の見直しは、村民参画を徹底し、具体的な施策を。

・ふるさと納税使途の決定に、村民の意見やアイデアを聞く場を。

・自治基本条例については、村民にも学習の場を。

・「日吉津村チャレンジサポート地域事業」について、多くの村民への周知を。

・福祉センター等の運営変更による高齢者の不安や戸惑いに対し、丁寧な情報発信に努められたい。

【福祉保健課】

・福祉センター等の運営変更による高齢者の不安や戸惑いに対し、丁寧な情報発信に努められたい。

【教育委員会】

・放課後の地域クラブを支援されたい。

【住民課】

・「環境の日」イベントは、村民による実行委員会と協議し、より充実した事業とされたい。

【建設産業課】

・農業委員が人数削減となっても、その責任・役割の重要さは変わらない。中立委員や女性・若年層の委員を確保されたい。

令和7年度

一般会計補正予算 (第10回) 1億395万円増額



託料

《まくれんカラダ体操整備委

内容説明を。



想定していた児童数を上回ったため、村の負担が減額となった。



《35人学級加配教員の協力金》

5000万円減額の経緯は。

歳出

補正予算額 (令和7年度)

- 一般会計 (第10回) **103,957** 千円 増
- 国民健康保険事業勘定特別会計 **23** 千円 増 (第3回)
- 後期高齢者医療特別会計 **4,196** 千円 増 (第2回)
- 下水道事業会計 収益的支出 **753** 千円 増 (第3回)



個人村民税は前年度が計画減税のため当初少なめに見込んでいた。法人税割については企業収益の増加に伴い増収となった。



《村民税》

個人村民税1700万円及び法人村民税9069万円増額の説明を。

歳入



▲まくれんカラダ体操



「まくれんカラダ体操」を各自治会単位で行うための備品等の整備。

〔主な条例改正〕



企業版のふるさと納税が当初予算より減額となる。



《地方創生応援寄付金》
160万円減額は。

〔村督促手数料の廃止に伴う関係条例の整理〕
村税などの督促手数料の廃止。

〔村特別職の給与旅費に関する条例の一部改正〕
期末手当支給率の引き上げによる改正（年間3・45月から3・50月に引き上げる）。

〔村職員の給与に関する条例の一部改正〕
国の人事院勧告に基づき、期末手当・勤勉手当・通勤手当を改正。

〔村国民健康保険税の条例の一部改正〕
子ども・子育て支援納付金が保険料に上乘せされる。

子ども・子育て支援納付金が保険料に上乘せされる。



上乘せされる期間はいつまでか、一人当たりいくらか？



今後も引き続き行われる。試算として、一人当たり300円程度の負担である。



▲ひえづの子どもたち

〔村農業委員会の委員の定数等に関する条例の一部改正〕
農業委員の定数を10名から8名に削減する。



農業委員の役割は。



農地利用の集積や遊休農地の解消、新規就農の促進である。

Q

有する農業委員を専門的な知識を

5人、認定農業者3人、中立的な方1人である。

A

区1人、実行組合

Q

現在の農業委員10人の枠組みは。

8人でも支障がないと総会で承認された。

A

他の自治体と比較し一人当たりの

Q

農業委員定数を8人にする経過は。



▲課題の遊休地

A

活動成果を上げるよう研修や意見交換を行い、レベルアップを行っている。

選任をする考えは。

「村森林等火入れに関する条例の一部改正」

林野の火災注意報と警報を追加。



〔議員発議〕

「村議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」

村長ほかに準じ、村議会の議員の期末手当の支給月数についても引き上げるもの。

第1回臨時会（1月28日～2月5日）

米子市日吉津村中学校組合立から米子市立箕蚊屋中学校へ

- 議案第3号 米子市日吉津村中学校組合規約を変更する協議について
- 議案第4号 米子市日吉津村中学校組合の解散に関する協議について
- 議案第5号 米子市日吉津村中学校組合の解散に伴う財産処分に関する協議について
- 議案第6号 米子市と日吉津村との学齢生徒の教育事務の委託に関する規約を定める協議について

1月28日

「米子市日吉津村中学校組合の議案に関する特別委員会の設置と付託を求める動議」（提出者：前田・石原）

提案説明：より深く検討し、更なる慎重審議をするため。

採決

賛成5（前田・石原・河中・橋井・江田）

反対4（加藤・松田・長谷川・斉田）

（賛成多数）動議可決



2月2日

米子市日吉津村中学校組合の議案に関する特別委員会

賛成多数



2月5日

本会議採決

議案第3号

賛成7（加藤・松田・長谷川・斉田・前田・石原・河中）
反対2（橋井・江田）

議案第4号

賛成6（加藤・松田・長谷川・斉田・石原・河中）
反対3（前田・橋井・江田）

議案第5号

賛成6（加藤・松田・長谷川・斉田・石原・河中）
反対3（前田・橋井・江田）

議案第6号

全会一致 賛成



原案可決

動議	
討論	反対（松田議員）：3回の住民説明会を開催したので本臨時会で結論を出せばよい。
	賛成（河中議員）：昨年11月末に初めて提案され、あまりにも唐突である。
討論	議案第3号
	反対（江田議員）：議案提出は突然で村民への情報提供がなされていない。 賛成（松田議員）：米子市の提案は日吉津村の中学生への教育環境は変わらない。
討論	議案第4号
	反対（前田議員）：議員説明を受けたのは10月下旬。時間をかけて慎重審議を行うべき。 賛成（長谷川議員）：日吉津村立中学校の単独設立は不可能。米子市委託はやむを得ない。

もっと
知りたい

中学校組合を解散し、米子市委託に



中学生に、 変わらぬ教育環境を

臨時議会で「特別委員会」を設置して検討しました

組合立箕蚊屋中学校

箕蚊屋中学校（旧第2中）は、旧巖村・春日村そして日吉津村の共同による中学校として昭和22年開校しました。その後、巖村・春日村が米子市に合併し、また、伯仙校区の箕蚊屋1中と合併して、現在の箕蚊屋中学校となりました。この間、70年余り「米子市日吉津村中学校組合立箕蚊屋中学校」（米子市教委事務局）として管理運営してきました。

「米子市委託」の提案

昨年11月米子市から、中学校組合は、事務的な手続きも煩雑なことから、「米子市への委託方式」へ移行したい、と提案がありました。

変わるのは、校名から「米子市日吉津村中学校組合」が削除され、米子市立箕蚊屋中学校となるだけで、その中学校の運営については、これまでと何ら変わらないという説明でした。

村民への説明会開催

これを受けて、村は、3回にわたり村民説明会を行いました。

参加者からは、「組合立でなくなれば、校名から日吉津村がなくなる」「昨年11月の提案で、翌年4月から、というのは拙速だ」「今後は米子市の意向のみで学校運営がなされるのでは」「中学生に対する村としての対応はどうなる」など、疑問視する意見が出されましたが、村からは、「市長・村長

が出席する米子市との協議会を設置するな



▲市立箕蚊屋中学校の閉校式

置するなど、日吉津村としての意向は反映できる」と説明しました。

村臨時議会に提案

今年4月に移行するために、1月28日に臨時議会が招集され、議

案が提案されましたが「特別委員会設置の動議」が提出され、賛成多数の結果、臨時議会を会期延長して委員会協議が行われました。

米子市議会においては、仮に本村が議決をしなかった場合には、米子市として中学校組合から脱退をする（法令により3年後には解消とする）方針だと説明を受け、中学生を不安にさせてはならないなどの意見もあり、議案への賛成が多数となりました。

本議会議案可決

本議会でも賛成多数により可決しました。

米子市との協議に向けて「附帯決議の提案（前田）」がされましたが、賛成少数で不採択となりました。

◇日吉津村の中学生が、ますます楽しく通う箕蚊屋中学校となるよう、関心をもって取り組みます。



議会モニター会議の報告

日吉津をもっと良くしたい！

日吉津村議会では、多様な村民のご意見をいただくために、令和6年から「議会モニター制度」を設けています。7年度は4回開催しました。皆さんの「日吉津をもっと良くしたい」という熱い思いが感じられる会議になりました。

第1回（7月5日）は、村や議会のことなど興味を持っていることを紹介しあいました。

第2回（8月23日）は、「日吉津の良いところ」を2グループに分かれて出し合いました。

【良いところ】

- 利便性
 - ・交通の便
 - ・商店、病院が近い
- 人とのつながり
 - ・ご近所、自治会
 - ・ママ友、パパ友
- 役場
 - ・身近である



▲ワークショップで意見交換



▲子どものことなどに意見多数

第3回（11月13日）、第4回（2月14日）では、「日吉津の良いところ」に加え、「こうしたら良くなる」というアイデアを全員で話し合いました。

- 日吉津村の目指す方向を決めることが必要。ビジョンを明確に。
- 村に残ってくれる子どもたちこそ重要な人材である。大事にしたい。
- 体験が大切。子ども同士で学べる場にもなる。お金を使う以外の遊びや体験を。
- 自分たちの意見から、実現できたという体験を。こども議会などの設置はできないか。
- 免許返納後の移動手段について研究を。
- 伯耆大山駅からイオンまで歩く子どもたちの交通手段は。
- 子どもたちの立ち寄る居場所ができないか。

その他、議会だよりや議会運営などについての意見も紹介します

よかった記事では、多くの方が村民インタビュー、次に一般質問と答えてくださいました。その他、議会懇談会の様子、追跡ページなどにも関心を持っていただきました。

【その他】

- カラーページが増えると良い。
- 一般質問の時、議員以外の方が質問できるようにしてみたら。
- モニター会議の目的を明確にすると良い。

次回のモニター会議は

5月16日(土) 10時から

あなたも見学してみませんか

詳しくは

議会事務局 (27-5957) まで

総務経済常任委員会への付託案件

請願 第1号 「政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願書」

【請願者】鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀 敏之
【紹介議員】江田 加代

委員長報告

趣旨採択

全会一致

反対討論 齊田 光門 議員

本請願はコメだけでなく、野菜、果樹、畜産等も含まれており、全てに所得補償制度が必要となる。

賛成討論 江田 加代 議員

政権が変わったこともあり、国に意見書を書き上げ、所得補償を実現させるべきである。

反対

齊田、石原、長谷川、前田、河川、松田、加藤、橋井

賛成

江田

本会議結果

不採択

賛成少数

常任委員会の活動

閉会中 調査報告

変ぼうするキャンプ場

【考察】

海浜運動公園は、管理棟の老朽化やテニスコートなど、十分な管理がなされていなかった。このたびの再整備により、利用者の増を願うが、不要と思われる工事が所やリニューアル後のPR不足等委員からの指摘があった。

また、旧うなばら荘についても現状を見る限り、改修スケジュールで進ちょくするのか疑問がある。

海浜運動公園再整備事業は大きな予算を投入した事業であり、今後の利用状況や第2期工事を注視していきたい。

総務経済常任委員会

- 調査地：海浜運動公園、旧うなばら荘
- 調査日：令和8年2月4日



▲工事中のビジターセンター

GIGAスクールの課題は

【考察】

兵庫県小野市では、スマホやタブレットの子どもに与える影響を保護者と一緒に周知させながら、GIGAスクールに取り組んでいた。

現在の情報過多の中で、子どもたちの社会的被害が発生する危険性も潜んでいる。

タブレット導入で、わからないと感じたらすぐこれを使って調べるといった流れは、「考える」過程が希薄になるとも言われている。

本村でも「教えて考えさせる」授業を基本に、独自のGIGAスクールを確立させたい。

教育民生常任委員会

- 調査地：日吉津小学校
- 調査日：令和8年1月23日



▲タブレットを使った授業

一般
質問

村
政
を

問
う

① 教職員の超過勤務の縮減は進んだか

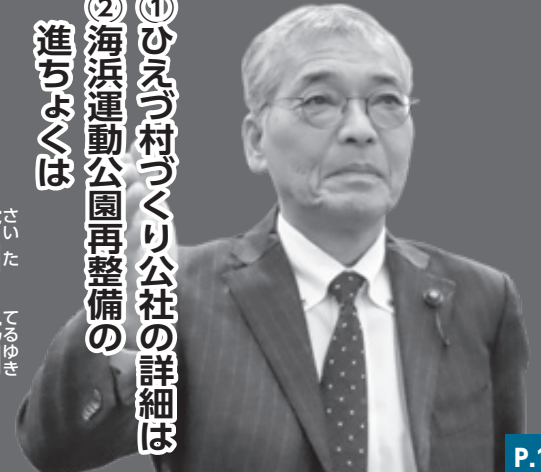
石原 浩明 議員



P.13

① ひえづ村づくり公社の詳細は
② 海浜運動公園再整備の進捗は

齊田 光門 議員



P.12

① 住民自治と村づくりとは
② 村づくり公社が果たす役割とは

河中 博子 議員



P.15

① ひえづ村づくり公社の概要を
② 男女共同参画の各課施策は

前田 昇 議員



P.14

私はここに注目

① 海浜運動公園再整備の進捗は
② 新設される一般廃棄物処理場は

長谷川康弘 議員



P.17

① 福祉避難所の現状と今後の課題は
② 行政懇談会の開催時期の見直しを

江田 加代 議員



P.16

今回の一般質問

村の行政施策などについて、説明や見解を求めたり、議員の提案を行う場です。3月定例議会では、3月3日が一般質問にあてられ、6人の議員が登壇しました。

※松田悦郎議員も「教育無償化の取り組みは」「火災報知機購入補助金を」について質問する予定でしたが、当日欠席したため、質問はしていません。



齊田光門 議員

ひえづ村づくり公社の詳細は 村長 新鮮市場にひえづマルシェが オープン

Q

①公社内部の組織構成は（役場職員の関わりなど）。
②公社とひえづ物産との関係は。
③新鮮市場の新店舗の詳細及び販売内容は。

④工事費など経費負担はどのように取り扱うのか。

A

村長

①(株)ひえづ村づくり公社の役員は代表取締役三嶋真樹、取締役



▲3月14日オープンした「ひえづマルシェ」

中田達彦村長、浅野真澄、監査役小原義人副村長。「ひえづマルシェ」は店長・パート計3名、海浜運動公園は5名を雇用予定。

②ひえづ物産が管理する新鮮市場内の店舗として賃貸関係にある。

③ひえづマルシェは地元の新たな物販販売、オリジナル商品の開発販売を行う。

④国の地方創生交付金を活用し、村から公社へ4585万円（設計、工事費、備品費など）を補助し、今後は公社が店舗運営をする。

海浜運動公園再整備の進ちよくは

村長 第1期工事4月オープン
第2期工事6月着工予定

Q

①第1期工事オープン後、各施設の利用率をどのように考えるか。

②ひえづ村づくり公社が指定管理となった経緯は。

A

村長

③第2期工事の予算総額は。
④設計、施工はどのような方法で決定するのか。
⑤子育て交流拠点施設の完成図公表は。

①第1期工事は3月中に完成する。グランピング施設は季節の変動を含め一般的には稼働率50%。オートキャンプは稼働率20%から積算して200〜230万円の売り上げを見込んでいる。バンガローは前年同様約250万円、新キャンプサイトは2割程度減少で120万円の売り上げを見込む。

②指定管理者選考委員会の審査で応募者は最低基準点を満たさず、不選定となった。

村づくり公社から事業提案があり、地域の賑わいと活力をもたらすを期待した。運営体系も防災や救急などの知識のある方を配置され、安全な



▲リニューアルした海浜運動公園

施設運営が期待できるとし、選定委員会からも了承された。

③第2期工事の予算総額は国の交付金を活用し、約5・8億円である。

シンボルとなる屋根付き広場と子どもたちが遊べる遊具をはじめ、トイレや休憩所、大山を望む展望空間を整備する。

④設計施工方法は、第1期工事と同様に5月に優先交渉権者の決定と基本契約をし、5月から翌年3月まで設計及び工事完成を目指す。

⑤完成図はイメージ図や設計図面を6月〜7月頃に公表予定とし、住民説明会を開催する。



▲超過勤務をなくし、楽しい授業を

Q 日吉津小学校の教員は勤務時間内に翌日の授業準備をする時間が取れているか。

A 教育長 勤務時間終了まで1時間足らずの日もある。

Q 時間外在校時間は減ってきているか。

A 教育長 教職員の時間外在校時間は減少傾向にないのが実状である。日吉津小学校では、管理職が先生方に呼びかけを続け、お互いに退勤をすすめる声かけをしたり、自主的に仕事分担を行ったり、意識の変容

*ほかに、「キャンプ場再開の準備について」も質問しました

が見られ始めている。このような取り組みから、月45時間を超えた超過勤務の回数は、減少した月も見られる。村では、学習支援員の配置などで、時間外そのものを物理的に減らすように考えている。

Q 深刻化する教員不足への対応や、長時間労働が問題視されてきた。学校現場の「働き方改革」を加速させ、教育の質を向上させることを目的として令和7年6月について「給特法」が改正された。4

A 教育長 業務量管理・健康確保措置の実施計画の策定と公表を行う予定である。計画の実施状況を「総合教育会議」に報告し、外部の視点を取り入れたい。今年度最後の学校運営協議会において、これらの内容を明記するよう調整している。

Q 月からの施行に向けて、村や教育委員会としてどのように取り組んでいくのか。

A 教育長 業務量管理・健康確保措置の実施計画の策定と公表を行う予定である。計画の実施状況を「総合教育会議」に報告し、外部の視点を取り入れたい。今年度最後の学校運営協議会において、これらの内容を明記するよう調整している。



石原浩明 議員

教育長 減少傾向にはないのが実状 教職員の超過勤務の縮減は進んだか



▲先生と子どもがふれ合えるように



前田 昇 議員

ひえづ村づくり公社の概要を 村長「ひえづマルシェ」や 海浜運動公園の運営を行う

Q アンテナショップの経営や海浜運動公園の指定管理を行う村づくり公社の役員・スタッフはどのような計画か。

A 村長

公社の取締役は、村長を含め3名、監査を副村長。マルシェのスタッフは、店長とパート含め3名、

海浜公園のスタッフは、5名の予定である。

Q

A 村長

村づくり公社の事務所はどこに。新年度の事業への委託料は。

ひえづマルシェの一角を事務所とする。8年度委託料は、地方創生マネージメント事業に800万円、商品開発に660万円、販路開拓に600万円。海浜公園の指定管理に200万円を予算化した。

Q 海浜公園の指定管理についての公社への決定の経緯を。

A 総務課長

昨年11月、募集要項を発表し、応募のあった1者を12月に審査したが、不採用となった。その後、村づくり公社より事業提案があり、その内容を審

査会委員に個別に相談したところ、妥当だと判断をいただいたので、1月の臨時議会にて承認いただいた。

Q

A 総務課長

公社の実績や提案内容についてどう評価したか、審査会による採点はいかに。早急に開催して事業への期待も含め、審議いただくべきでは。

A 審査会での採点は行っていないが、提案内容は適切だと判断をいただいた。

男女共同参画の各課施策は

村長 基盤づくり、環境づくりに向けて各課で取り組む

Q 取り組みが停滞していた男女共同参画の見直しはいかに。

A 村長

今年1月に審議会を開催し



▲男女共同参画は村づくりの重要課題

検討いただいた。審議会からは、「実施計画の実効性を十分確保する」「実施計画における評価を行い、見直しに反映させる」などの付帯意見をいただいている。それを踏まえ取り組んでいく。

Q 現在中間見直し中の総合計画との整合性はいかに。また防災計画や災害時の避難マニュアル作成などにおいて、女性の視点が必ずやと以前から指摘しているが、いかに。

A 村長

総合計画においては、人権尊重の項目に男女が互いの人権を認めて、ともに参画していくことを盛り込んでいます。また、防災計画の見直しも予定しているので、指摘の内容についても盛り込んでいきたい。



▲リニューアルしたビジターセンター



▲改めて自治基本条例を見直そう

A 村長 箕蚊屋中学校の組織を解体する件については、短い期間での決定となり、村民に對して、情報提供とか議論の時間が十分あつたかと問われると、そうではなかつたかもしれない。

今後はまず住民の皆

様にお知らせをして参画をしていただき、一緒に協議いただく場をできるだけ多く作っていきたいと、今回の反省も含めて考えている。

Q 村づくり公社が果たす役割とは

村長 まだ十分周知できていない

Q 村づくり公社の実態を村民は周知しているか。

村長 公社については昨年5月に設立したところで、村民の皆様への周知がまだ十分ではないかもしれない。

ひえづ村づくり公社設置目的の一つに、地域特産品の開発、ブランド化、農業振興等がある。

今後はwebサイトにおいて、村の観光PRや特産品の魅力発信をす

A 村長 重要な決断の際には村民の意見を十分反映させるとなっている。しかしいざとなると、村民は蚊帳の外的な執行が見える。これは条例違反ではないか。

Q 重要な決断の際には村民の意見を十分反映させるとなっている。しかしいざとなると、村民は蚊帳の外的な執行が見える。これは条例違反ではないか。

A 村長 農業者の方からはイチジク生産に対する意欲はあるものの、経験がなすすぐには難しいという意見が多いが、既に栽培しておられる方から栽培技術を学べる場を継続するなど、支援していきたい。

Q 村の自治基本条例にある村民主役の村づくりができていないのではないか。

村長 村民が村づくりの主役であることを深く認識しながら、村の最高規範である自治基本条例を最大限に尊重し、村としての役割と責務を

担っていく。住民の皆様いかに参画していただけるか、村民の皆様力をいかに引き出していかかを、真摯に考えながら取り組む。

Q 重要な決断の際には村民の意見を十分反映させるとなっている。しかしいざとなると、村民は蚊帳の外的な執行が見える。これは条例違反ではないか。

イチジク栽培に力を入れていようだが、村の特産品となり得るか。

Q イチジク栽培に力を入れていようだが、村の特産品となり得るか。

村長 農業者の方からはイチジク生産に対する意欲はあるものの、経験がなすすぐには難しいという意見が多いが、既に栽培しておられる方から栽培技術を学べる場を継続するなど、支援していきたい。



河中博子 議員

住民自治と村づくりとは

村長 村としての責務を果たす



▲イチジク栽培が村を代表する特産品になるか



江田加代 議員

福祉避難所の現状と今後の課題は

村長 指定管理者と協議をすすめる

Q

村は2015年、災害時に一般の避難所では生活が困難な方のために、日吉津村社会福祉センターと日吉津村デイサービスセンターを福祉避難所に指定されている。福祉避難所のこれまでの取り組み状況と今後の課題は。

A

村長

福祉避難所は、一般の避難所で生活することが困難な高齢者や障がいがある要配慮者で、介護施設や医療機関等に入所・入院をされている方に対し、日常生活上の相談や介助の支援ができる体制が整った避難所である。

この避難所は最初の避難所ではなく、一般の避難所や緊急避難所に避難された後に必要に応じて開設する二次的な避難場所である。

本村では、社会福祉協議会とデイサービスセンターと協定書を締結し「福祉避難所開設運営マニュアル」を作成している。2022年には鳥取大学と連携して、初動から避難所開設、受け入れ

までの基本的な動きをマニュアルに沿って確認した。昨年10月に、デイサービスセンターの運営主体が新たな事業者に代わったが、協力するとの回答をいただいているので協議を進めていきたい。今後の課題は、収容可能人数と村内の要配慮者の人数によっては、村内にある他の福祉施設を福祉避難所に指定することや、災害発生時に、県を通じて、職員派遣等の検討が必要である。

行政懇談会の開催時期の見直しを
村長 自治連合会で調整している

Q

恒例の村主催の行政懇談会は、予算編成終了後ではなく、予算編成に住民の声が活かされるよ

A

村長

う、編成以前に開催を。

開催時期だが、予算編成のスケジュールも念頭に、年明けの自治連合会で相談、開催日程の調整をし、6月議会終了後に懇談会を開催している。懇談会での要望等は、翌年度の予算につなげるよう検討している。緊急な課題は、この会を待たず対応したいので相談いただきたい。



▲避難所用パーテーション。畳むとこんなにコンパクトに。



▲住民こそが主人公



▲リニューアルされたキャンプ場

公衆トイレの地盤沈下は、杭を打って傾きを調整し家上げをして対応。費用は工事全体で調整し予算内で収まっている。

指定管理者の「村づくり公社」は常駐者1名、パート1名、さら

A 村長
西部広域の令和8年度当初予算において一般廃棄物処理場関連

Q 西部広域行政管理組合が令和14年度に稼働を目指している一般廃棄物処理場の計画はどの程度進んでいるか。

村の建設負担金の準備のための積み立ては順調と思われるが、その後負担金の増額の話は出ていないか。

新設される一般廃棄物処理場は当初計画より約2年遅れている

村長
西部広域行政管理組合が令和14年度に稼働を目指している一般廃棄物処理場の計画はどの程度進んでいるか。

村の建設負担金の準備のための積み立ては順調と思われるが、その後負担金の増額の話は出ていないか。

現在の進捗は、予定通り進んでおり3月中の工事完了、4月からの事業開始の予定である。ただし、スポーツ広場に関しては芝生の活着を待ち6月頃の供用開始を予定している。

現在の管理人の方にも勤めていただくよう進めている。当社は村の地域資源をどこよりも熟知している点や、村民視点の運営を行える点など他社にはない強みを持っていると考えている。

の予算が承認されたが、現状では令和3年に策定された基本構想のスケジュールからは約2年遅れている状況である。

村の工事負担金の基金への積み立て状況は、今回の3月補正予算で1億637万円の積み増しを行い、1億4161万円となり現在示されている積立額は完了となる。

今後は西部広域からの情報を踏まえつつ、事業費の動向にも注視し、健全財政の維持を基本としていく。



長谷川康弘 議員

海浜運動公園再整備の進捗は

村長 工事は予定通り順調に進んでいる

Q 海浜運動公園の工事は順調で4月事業開始は可能であるか。また、地盤沈下していた公衆トイレの工事と予算の状況はどうか。今後の運営に関して指定管理者に

A 村長
「株ひえづ村づくり公社」が選定されたが、設立1年未満の会社に予測される課題はないか。

に現在の管理人の方にも勤めていただくよう進めている。当社は村の地域資源をどこよりも熟知している点や、村民視点の運営を行える点など他社にはない強みを持っていると考えている。



▲現在の米子市一般廃棄物処理場

議会のうごき

全国町村議会広報 クリニツク

とき 2月18日(水)
ところ 全国町村会館
(東京都)

広報委員5名で参加しました。記事の編集方法や書体など、他町村の紙面と比べて学ぶところが多くありました。行政の広報と同化しないよう気をつける等、課題を多く見つけることができました。より良い紙面づくりに努めます。



桜堤の整備活動

とき 4月2日(木)
ところ 日野川土手桜堤



今年も恒例の美化作業を行いました。もともと昭和の時代に王子製紙の土地に議会の発案で植樹したものです。

王子製紙の皆さんと一緒に村議会、村職員が汗を流しました。年々桜も立派になり、みごとな「トンネル」になりました。今では結婚式の前撮りの人気スポットになっています。

「議会ひえづ」についてのご意見・ご感想をお聞かせください！



次回の6月議会「一般質問」は、日曜議会を開催します。ぜひ議場におこしください。

〔表紙〕小学校の入学式



今年の新入生は47名で、全校生徒250名になりました。子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。しかし、みんないい顔をしていますね。

編集後記

村づくり公社の設立、海浜運動公園再整備、そして箕蚊屋中学校の米子市委託と、矢継ぎ早に事業が行われました。これらには、人・物・金が必要の条件ですが、何より村民に伝え、理解を得ることが議会の務めであるためと考えさせられました。

花も時期になれば咲くとはいえ、日ごろの手入れが肝要ですね。

— 橋井 記 —

次回の定例会は
6月です



議会広報聴取委員会

石原 浩明・斉田 光門
橋井 満義・江田 加代
前田 昇

